

私たちの未来のために

旭川市立広陵中学校 3年 工藤 侑和

日本は災害の多い国だ。地形や気象などの自然的条件から豪雨や洪水、土砂災害、地震津波などによる災害が発生しやすい国土となっているのだそうだ。今年の夏も、豪雨による洪水や土砂崩れなどで、各地で大きな被害があった。北海道でも大雨の予報があり地域によっては大雨や暴風の警報が出ていた。幸い私の家に被害はなかったが、たくさんの地域で多くの人たちが被害にあっている。川が氾濫して泥水が家の中に流れてきたり、車が流されたり、土砂崩れで家が壊されたりした。泥で埋まった家の中はどのように片付けるのか。住んでいた人たちはどこで生活したらよいか。食べる物はあるのか。着替えは？持病がある人の薬はすぐに手に入るのだろうか。突然起きた災害では、逃げ出すだけで精一杯。持ち出すものを選ぶ余裕はないだろう。事前に避難していた場合でも、必要最小限のものだけ持って逃げていると思う。だから、無事に避難所に行けたとしても、大変な生活になるだろう。そう考えると、このような大きな災害が起きた時は、私たちの力だけではどうしようもないことがたくさんある。だからこそ、こんな時には住んでいる町や国の手助けが絶対に必要になる。しかし十分な支援をするためには十分な資金が必要だ。

大変なことは災害以外にもある。新型コロナウイルスだ。今までなかったものが突然現れて、世界中が混乱した。学校は休校になり、卒業式や入学式に在校生が出席できなくなるなどはじめてのことがたくさんあった。外出自粛によって仕事ができない人もいて生活が苦しくなる人も出てきた。そんな人たちを助けるために各家庭に給付金が支給された。自分の家はもう申請したという話が学校で出るくらい、私たち学生の間でも関心がある出来事だった。このように私たちが本当に困っているときに支援してもらうために、私たちの税金が使われるのなら、税金というのは本当に大切なものだ。

今回、税金について色々調べてみてわかったのだが、東日本大震災後には、復興のために必要な財源を確保するため、復興特別税というものができたそうだ。これは、とても必要なものだと思う。私はありがたいことに何の被害も受けずに生活できているが、同じ日本の中で大変な思いをしている人たちがいるのなら、みんなで助け合っていくべきではないだろうか。災害が起きた地域に直接行ってお手伝いすることができなくても、私たちの税金が支援に使われるのなら、しっかり税金を払うことで困っている人に協力できるかもしれない。

今、私が払っている税金は消費税くらいしかないが、大人になった時にはきちんと税金を払って、自分の義務を果たしていきたい。それがきっと自分たちを助けることになるはずだから。